

令和4年度事業計画

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

1 基本方針

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、ワクチン接種の推進により秋頃から年末にかけて沈静化されたかと思われましたが、年明けから再び拡大し始め、まん延防止等重点措置が適用されるという厳しい状況が続いています。そのため、昨年度の契約金額や就業延人員は、令和2年度に大きく落ち込んだまま回復の兆しも見えなく、会員数も減少傾向のままという厳しい状況です。

一方で、昨年4月には、70歳までの就業機会確保の努力義務が企業に課され、シルバー人材センターへの入会年齢が上昇しています。

このような状況の中、当センターは「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、「生き活きと支える側で、社会の担い手に」を合言葉に、就業を通じて地域社会のニーズに応えられるよう、各種事業を推進して参りました。

また、昨年度は、コロナ禍により1年延期していた「第3次中期計画」（令和4年度から5年間）の策定をいたしました。

今年度は、「第3次中期計画」の基、引き続きセンター事業を広くPRするとともに「会員増強」「就業機会拡大」「安全就業・健康管理」を念頭に、会員・役員一丸となって、地域社会に貢献できるよう着実な事業推進を実践し、会員自らが参画、運営、発展させて行く自主・自立したセンターの確立に努めて参ります。

なお、この計画は令和4年3月時点でのもので、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更することがありますことをご了承ください。

2 基本方針を実現するため次の施策を行います。

（第3次中期計画施策推進行動計画書により実施します。）

（1）会員の増強

- 女性会員の就業先を開拓する
 - ・事務、軽作業等の職種企業等への営業活動実施
- 女性限定の説明会を実施する
 - ・女性会員募集のチラシを作成し配布
- 入会説明会の説明内容等を見直す
 - ・入会届の書式・内容の見直し
 - ・入会説明会資料の見直し

- ・役員等による就業体験発表の実施
- チラシやポスターの定期的なリニューアルと設置場所・設置方法を工夫する
 - ・ハローワークとの連携推進（チラシ・ポスターの設置や情報提供）
 - ・スーパーマーケット、駅、文化会館等の集客が多い施設への設置依頼
- センターの PR 及び入会促進
 - ・会員によるチラシ配布
 - ・入会、就業募集チラシ毎戸配布（広報ふかや）
 - ・市主催イベント参加による PR 活動
 - ・大型商業施設での PR 活動

（2）人材育成

- 趣味の会、サークル活動の体験により活性化を図る
- 会員のスキルアップや事故防止のため、各種資格の取得をバックアップする
 - ・職群別講習会の実施（植木剪定、草刈り、襖等張替）
 - ・接遇研修の開催
 - ・パソコン、スマートフォン研修会の開催
- 配分金明細書やセンター広報紙に、ホームページの QR コードを付ける
 - ・ホームページの QR コードを作成し、アクセスを簡易化する

（3）新規顧客の開拓

- 派遣事業を推進し、シニアの力・スキルを必要とする職種を開拓する
 - ・教育、子育て、介護事業等の人手不足分野の就業拡大
 - ・大手スーパーマーケット、アウトレットでの派遣就業開拓
- 仕事の品質や信頼を基にして、リピート率をアップする
 - ・顧客先への訪問巡回の実施（カレンダー配布）
 - ・既存事業の改善のため、調査・研究を進める
- 会員の需要に対応できる就業開拓をする
 - ・ホワイトカラー層の仕事の調査・研究・開拓に努める
- 高齢会員の就業先を確保する
- 深谷商工会議所やふかや市商工会と連携して就業開拓をする
- 新規顧客開拓
 - ・シルバー派遣事業の拡大
 - ・入会、就業募集チラシ配布（商工会議所会報・商工会会報）

- ・新聞、フリーペーパー等の広告掲載

(4) 適正就業

- 適正就業徹底のため、接遇研修や事業所巡回を継続的に実施する
 - ・請負、委任契約の適切な仕様書、契約書の作成・整備
 - ・民間事業所、公共施設の巡回（担当者挨拶、状況確認）
- 接遇研修を、レベル別に対象者を絞って実施する
- 長期就業是正のため、ワークシェアリングやローテーション就業を推進する
- 5年の就業限度や75歳の年齢制限について検討する
 - ・継続就業者に対し、就業施設での年齢制限を検討

(5) 安全就業の徹底

- 安全就業徹底のため、安全講習会や安全パトロールを継続的に実施する
 - ・普通救命 AED 講習会の開催
 - ・交通安全講習会の実施
 - ・安全就業講習会の実施
 - ・定期的に、民間事業所等の作業現場巡回を実施
 - ・植木、草刈作業等の安全確認現場巡回を実施
- 安全就業意識向上のため、安全に関する標語を募集する
- 作業会員の安全保護具の着用と安全点検の実施を徹底する
- 安全パトロールの強化のため、安全推進員を設置する
 - ・安全推進員の設置に向け検討
- 飛び石事故を起こさないため、防護ネットの使用を徹底する
- 事故やトラブルの事例を公開し、再発防止に努める
 - ・安全だよりに掲載し会員へ周知
- 傷害・賠償事故をなくすため、ペナルティ制度の実施を検討する
- 事故発生時の対応
 - ・緊急連絡図作成

(6) 健康管理の強化

- 常に体調を管理し健康に留意するとともに、健康診断の受診を徹底する
 - ・広報誌等を活用し健康診断の受診を促す
 - ・定期的に感染症対策をするよう促す

- 事故防止と自己管理意識を高めるため、フレイル予防事業を実施する
 - ・フレイル予防事業を実施しているセンターの視察
 - ・会員を対象にフレイル予防教室を実施

(7) 自主運営

- 地域班を基本に、ボランティア活動などを実施し、地域社会に貢献する
 - ・地域ごとにクリーンボランティアを実施
- 理事会や各委員会の女性役員比率について、30%以上を目指す
 - ・女性会員の入会率を上げる
- デジタル技術の活用(DX)を推進する
 - ・オンライン入会の推進

(8) 事務局の体制強化

- 就業アンケートを毎年実施し、各会員の状況把握と会員の満足度アップを図る
- 当センターが実施する研修等の各会員参加率を強化する
- 全シ協や県連合が実施する研修等に、職員を積極的に参加させ資質の向上を図る
 - ・正職員はもとより嘱託職員等も参加させ、事務局全体のスキルアップを図る
- 事務所の移転が決まった場合に備え、移転先の改修費や移転費を積み立てる
 - ・移転費用を確保するため、経費削減に努める

(9) 自立的財政基盤の確立

- 請負契約を見直すとともに派遣事業を推進し、契約金額の増強を図る
 - ・請負、委任になじまない業務は、派遣事業、有料職業紹介へ移行
- 消費税インボイス制度の導入による影響を視野に入れた、事務費や会費の適正金額の見直しを検討する
 - ・消費税インボイス制度導入に対応するため、事務费率アップ等の検討
 - ・請求書、配分金明細書等の見直し
- 最低賃金の改定に合わせた配分金単価の改定を検討する
 - ・埼玉県最低賃金改定に合わせた配分金の改定
- 指定管理者制度における三者共同体の連携を強化し、受注を拡大する
 - ・指定管理施設の巡回と情報共有
 - ・三者共同体の緊急連絡体制の強化